

令和3年度 上田市教育行政に係る事務の点検及び評価報告書

上田市教育行政評価懇話会

- 第1回 令和4年6月29日(水) 午後3時30分～午後5時30分
- 第2回 令和4年7月5日(火) 午後3時30分～午後5時30分
- 第3回 令和4年8月3日(水) 午後3時30分～午後5時30分

上田市教育委員会

目 次

I	趣旨		3
II	上田市教育行政評価懇話会		
III	評価の方法		4
IV	評価の結果及び懇話会の提言内容等		
1	「上田市教育支援プラン」の推進		
①	確かな学力の育成(支援策1)	学校教育課	5
②	確かな学力の育成(支援策2)	学校教育課	6
③	すべての子どもに寄り添う支援	学校教育課	7
④	学校給食施設の計画的な整備	教育総務課	8
⑤	小中学校のあり方の検討	教育総務課	9
2	安全・安心な教育環境の整備		
①	第五中学校改築事業(基本設計・実施設計)	教育施設整備室	10
②	小中学校トイレ改修事業	教育施設整備室	11
③	学校施設の適正な営繕の実施	教育施設整備室	12
3	文化遺産の保存・継承・活用		
①	「上田市文化財保存活用地域計画」の策定に向けた取組	生涯学習・文化財課	13
②	文化財の保存と活用	生涯学習・文化財課	14
③	史跡上田城跡整備事業の推進	生涯学習・文化財課	15
④	郷土の歴史、文化、先人・偉人の業績等を知る機会の創出	生涯学習・文化財課 博物館	16
4	生涯学習の推進と学習環境の整備		
①	上田自由大学運動等の顕彰による生涯学習推進	生涯学習・文化財課	17
②	地域とともにある学校づくりの充実	生涯学習・文化財課 学校教育課	18
③	人権同和教育・啓発の推進	生涯学習・文化財課	19
④	青少年の健やかな成長を支援する取組の充実	生涯学習・文化財課	20
⑤	公民館事業の充実	中央公民館 生涯学習・文化財課	21
⑥	図書館サービスの充実	上田図書館 生涯学習・文化財課	22
5	生涯スポーツ活動の推進とスポーツ環境の整備		
①	生涯スポーツの振興と競技力向上	スポーツ推進課	23
②	上田市スポーツ施設整備計画に基づく施設整備の推進	スポーツ推進課	24
③	スポーツを通じた地域づくりと交流拡大	スポーツ推進課	25

I 趣旨

平成20年4月1日に施行された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」において、各教育委員会は効果的な教育行政の推進を図り、住民への説明責任を果たしていくため、教育に関する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を毎年行うことになりました。

そのため、法改正の趣旨に鑑み、平成20年度から、目標管理制度において設定した教育委員会の重点事業について、自己点検及び自己評価を行い、上田市教育行政評価懇話会において、有識者から提言をいただいています。これらの評価の結果や懇話会における委員からの意見は、今後の教育に関する事業の改善に役立てていきます。

II 上田市教育行政評価懇話会

令和3年度重点事業の評価について、有識者からの意見を聞くため、本年度は、6月29日、7月5日、8月3日の3回にわたって上田市教育行政評価懇話会を開催しました。

なお、委員には、上田市の教育に携わった経験があり、専門的な観点からの意見を期待できる次の7人に就任を依頼しました。

(敬称略)

氏名	略歴	備考
安達 永眞	小県上田教育会幹事、信濃教育会賛助会員会会長、塩田西小学校信州型コミュニティスクール運営委員、元南小学校長	座長
田畑 和秀	長野保護観察所上田地区保護司、真田地域協議会委員、元神科小学校長	副座長
小宮山 千佐	上田市博物館協議会委員、民生児童委員	
平田 利江子	上田市行財政改革推進委員会委員、上田市交流文化芸術センター運営協議会副会長、元上田市教育委員	
町田 龍一郎	筑波大学生命環境系特命教授、上田市文化財保護審議会委員	
矢島 孝浩	上田市スポーツ推進委員副会長、上小スポーツ推進委員協議会監事	
山浦 美幸	元上田市社会教育委員	

Ⅲ 評価の方法

令和3年度重点事業の年度末における目標の達成状況について、AからCまでの3段階による評価を行いました。

【総合評価】

ランク	内 容
A	目標を上回る成果があった。
B	目標どおりの成果があった。
C	目標未達成の部分があった。

※評価方法の変更について

昨年度までは、評価ランクに「D:全ての目標が未達成であった。」を設けた4段階による評価を行ってきました。しかし、事業を実施する上で目標が全て未達成であるということは考えにくく、過去の懇話会においても「D」ランクが適用された事業はないため、今年度から3段階による評価に改めました。

Ⅳ 評価の結果及び懇話会の提言内容等

令和3年度重点事業の評価の結果及びこれに対する懇話会の提言内容等は、事業評価シートに記載のとおりです。

令和3年度 事業評価シート

1-①

事業名	確かな学力の育成（支援策1）	担当課	学校教育課
当初目標	(1)すべての児童生徒にとって「わかる・できる授業」につなげる授業改善を行います。 (2)多層指導モデルMIMの活用による「読み」の向上を図ります。		
具体的な取組	実施状況	事業費 (千円)	
	(1)授業改善の推進		
	学力向上委員会の開催（4回）	0	
	「授業を語る会」の開催（3回）	0	
	小中連携教員の配置（4校）	10,147	
	(2)MIMスタート研修(6回)、モデル授業・研修等の学校訪問を実施(174回)	0	
	MIMオンライン相談会（8回）、MIMモデル校実践報告会の開催（1回）	0	
目標の達成状況	(1)学力向上委員会を開催し、学力検査の分析等を行いながら学力の定着と向上に努めました。また、授業を語る会においては、「授業力を高めるためには」について語り合い、さまざまな考え方や価値観に触れ、それぞれの教員の授業改善への意識が高まり、授業改善につながりました。その他、中学校教員が小学校に出向き授業を行うことを通して、進学不安や学習意欲の向上を図りました。 (2)長野県が実施する「市町村の特色ある教育を支援する教員配置事業」により、MIMに特化した教員を1人配置し、模擬授業等、モデル校7校を中心に全市的に取り組みました。児童が楽しみながらMIMの学習を行い、「読み」の能力、さらに学習意欲の向上につながりました。		
総合評価	B		
今後の課題等	(1)確かな学力の育成のために、経験豊かな教員や同世代の教員と課題や実践方法を話し合い、教員の意識改革と指導力の向上を図る必要があります。 (2)定期的にMIM-PM（アセスメントテスト）を実践し、評価・分析を通じて必要な支援等の学習計画を立て、「読み」の向上に継続的に取り組む必要があります。また、学習につまずいた児童の個別の指導時間の確保や校内での協力体制の構築も必要です。		
上田市教育行政評価懇話会	委員からの意見	①授業を語る会の取組が、教員の授業改善への意識の高まりにつながっていることを評価します。このような教員同士の話し合いの機会が、各学校においても少しずつ日常的に設けられていくことを期待します。 ②「わかる・できる授業」につなげるためには、児童生徒が授業のどこにつまずいているかを把握する取組も必要だと考えます。 ③MIMの活用を意欲的に進め、児童の「読み」の向上につながっていることを評価します。今後も継続した取組となることを期待します。	
	意見に対する考え	①授業を語る会を継続して実施し、教員の授業改善への意識を高め、指導力の向上に取り組みます。 ②国の全国学力・学習状況調査のほか、市で標準学力検査を実施することによって、児童生徒の学力の実態を把握するとともに、得られた結果を基に授業改善に努めます。 ③引き続き、各校でMIMを活用し、学力の基礎となる「読み」の向上を図っていきます。また、教職員ポータルサイトへの教材の掲載等、日常的な取組として定着するよう支援していきます。	
今後の方針等	(1)教員同士で課題等を話し合う機会を引き続き設けるなど、教員の指導力の向上や授業の改善を支援し、「わかる・できる」と実感できる授業を目指しながら、学力の定着と向上を図ります。 (2)MIMの活用によって、「読み」の向上に加え、学習意欲の向上にもつながるなどの成果が見られることから、引き続き全市的に取り組み、より効果的な学習が進められるよう支援していきます。		

令和3年度 事業評価シート

1-②

事業名	確かな学力の育成（支援策2）	担当課	学校教育課
当初目標	<p>令和2年度末までに1人1台端末が配備され、授業での使用や家庭への持ち帰りが進み、より一層の端末の活用が求められているため、ICTを活用した効果的な授業を推進します。</p> <p>(1)GIGAスクール構想に基づく機器の整備及び学校ネットワークの再構築 (2)教員のICT活用指導力の向上</p>		
具体的な取組	実施状況	事業費 (千円)	
	(1)職員室無線LAN整備	2,556	
	学校ネットワークセキュリティ再構築	8,493	
	(2)学校ICT支援員派遣	38,309	
	GIGAスクールサポーター派遣	12,821	
	「上田GIGAスクールサイト」開設	0	
目標の達成状況	<p>(1)学校のネットワーク環境を改善するため、学校独自のネットワーク環境を再構築しました。加えて職員室にWi-Fi環境が整備できていない小中学校について、整備を進めました。</p> <p>(2)ICT支援員を令和3年度は5人増員し、9人派遣することにより、ICT支援員が各学校に週に1回は終日滞在し、ノート型パソコンを活用した教員の授業についてアドバイスや支援ができました。</p> <p>教員が利用できる「上田GIGAスクールサイト」をWeb上に開設し、ICTを活用した授業などの情報共有が図れました。</p>		
総合評価	B		
今後の課題等	<p>授業でのノート型パソコンの利活用が進み、家庭への持ち帰りも順次進められている状況です。引き続き、教員のICT活用能力向上に対する支援が必要です。</p>		
上田市教育行政評価懇話会	委員からの意見	<p>①職員室へのWi-Fi環境の整備など、ICTの活用に向けた環境整備が進んでいることを評価します。</p> <p>②ICT支援員の派遣や上田GIGAスクールサイトの開設、また教員同士の教え合いなどにより、段々と教員のICT活用指導力が向上していることを評価します。ICT活用指導力向上には時間を要するため、引き続き環境整備による教員の支援に努めていくことが大切だと考えます。</p>	
	意見に対する考え方	<p>①ICTを活用した効果的な授業の推進に向け、学校のネットワーク環境の状況を調査し、今後も必要な整備に努めます。</p> <p>②ICT支援員の派遣や情報教育主任会、夏期情報教育研修会などの開催を通じて、今後も教員のICT指導力向上に取り組みます。</p>	
今後の方針等	<p>ノート型パソコンを授業で更に有効活用できるように、ICT支援員などによる研修を充実していきます。</p> <p>他の教員が行った授業を参考にできるように、「上田GIGAスクールサイト」に授業の教材やオンライン学習の実践事例を掲載し情報共有を図り、サイトの内容を充実していきます。</p>		

令和3年度 事業評価シート

1-③

事業名	すべての子どもに寄り添う支援	担当課	学校教育課
当初目標	(1)相談体制の整備を推進し、いじめ・不登校など悩みを抱える児童生徒への寄り添った支援を行います。 (2)通常の学級において、発達障がい等のある児童生徒も含め、すべての児童生徒にとって「わかる・できる」授業となるよう、授業のユニバーサルデザイン化の推進に取り組みます。		
具体的な取組	実施状況	事業費 (千円)	
	(1)教育相談所による全校訪問	0	
	スクールソーシャルワーカーのスクリーニング会議への参加 (21校)	0	
	(2)長野大学社会福祉学部と塩田地区4小中学校がユニバーサルデザイン化の視点を取り入れた授業改善に取り組み、公開授業を実施 (35回)	0	
	上記成果を全小中学校に発信 (15回)	0	
目標の達成状況	(1)教育相談所による全校訪問を行い各校の不登校・不適応対応体制を確認するとともに、支援が必要な児童生徒を確認し、来所相談、電話相談、訪問相談、訪問支援などにつなげました。 また、スクールソーシャルワーカーが出席する校内スクリーニング会議は、令和2年度では3校での実施でしたが、令和3年度は21校となり、重篤な状況になる前に助言や支援を行ったケースが増加しました。 (2)「具体的、視覚的、肯定的」の3つを視点として授業改善に取り組み、全ての児童生徒にとって分かりやすく学習しやすい環境を整え、落ち着いた授業が展開できました。また、教員も3つの視点を意識した授業を行うことで、授業力の向上につながりました。		
総合評価		B	
今後の課題等	(1)悩みを抱える児童生徒を取り巻く環境も複雑化していることから、校内での組織的な支援や関係機関との連携強化等により、状況に応じた寄り添った支援をしていく必要があります。 (2)授業のユニバーサルデザイン化の取組を、市内各校に広げ推進します。		
上田市教育行政評価懇話会	委員からの意見	①関係機関と連携し、悩みを抱える児童生徒の相談・支援体制の整備が進められていることを評価します。 ②授業のユニバーサルデザイン化においては、障がいの有無に関わらず、児童生徒一人一人の状況に応えることができる授業を展開することが重要だと考えます。	
	意見に対する考え	①総合教育会議において、不登校支援をテーマに市長部局と情報共有を図りました。引き続き、児童生徒が抱える不安や悩みを早期に発見し解決できるよう、学校・家庭・関係機関が連携し、それぞれの状況に適した寄り添った支援を行っていきます。 ②授業のユニバーサルデザイン化の推進とともに、児童生徒の学習状況や障がいの状態に応じて、ICT機器を有効に活用し、学ぶ意欲を高め、個別最適な学びの推進に取り組みます。	
今後の方針等	(1)教育相談所の教育支援センター化による連携の強化や組織的・継続的な支援とともに、スクールソーシャルワーカーが参加するスクリーニング会議を推進し関係機関の連携を強化し、支援を必要とする児童生徒の早期把握や状況に応じたきめ細かな支援を行います。 (2)公開授業やその成果を発信しながら、授業のユニバーサルデザイン化を推進し、すべての児童生徒が「わかる・できる」と実感できる授業を目指します。		

令和3年度 事業評価シート

1-④

事業名		学校給食施設の計画的な整備	担当課	教育総務課
当初目標		(1) 老朽化が進む第二学校給食センターの改築に向けて、実施設計及び造成工事を実施し、年度内に建設工事の業者を選定します。 (2) 改築後の第二学校給食センターにおける食物アレルギー対応について、学校給食における食物アレルギー対応の基本方針及び対応マニュアルに基づき、対応食の調理をはじめとする具体的な対応内容を検討します。 (3) 令和2年度に策定した食物アレルギー対応の基本方針及び対応マニュアルに基づく対応を、令和4年度から各小中学校及び調理場で開始できるよう、その内容について、学校給食に係る職員及び児童生徒の保護者へ適切な時期に周知をします。		
具体的な取組		実施状況		事業費 (千円)
		(1) 新第二学校給食センターの実実施設計		28,138
		新第二学校給食センターの造成工事		29,623
		新第二学校給食センターの建築主体工事、電気設備工事、機械設備工事、工事監理業務の業者選定・契約		0
		(2) 現第二学校給食センターの受配校の学校給食における食物アレルギー対応の現状を調査		0
目標の達成状況		(1) 一部を繰り越していた基本設計を年度前半に終え、年度内に実施設計及び造成工事を完了しました。また、建築主体工事、電気設備工事、機械設備工事の業者を入札により選定しました。 (2) 具体的な対応内容を検討するため、現第二学校給食センターから給食を提供する小学校の食物アレルギー対応の現状を調査し、課題等を把握しました。 (3) 基本方針及び対応マニュアルについて、学校給食に係る職員へ説明し、また保護者説明の中心を担う養護教諭と意見交換を行い、養護教諭に保護者説明用資料を提供するなど、周知を図りました。		
総合評価		B		
今後の課題等		第二学校給食センターでは、施設の老朽化が進み、施設・設備の修繕が多発しており、改築事業を着実に進める必要があります。 昭和63年築で同じく老朽化が進む第一学校給食センターの改築については、第二学校給食センターの移転改築後に着手する計画であるため、より長期的な視点での対策が必要になります。 令和5年度に竣工予定の第二学校給食センターで、安全を最優先とした食物アレルギー対応が実施できるよう、令和4年度中に対応案を決定する必要があります。		
上田市教育行政評価懇話会	委員からの意見	第二学校給食センターの改築が計画的に進められていることを評価します。安全でおいしい給食を提供できる体制が整えられることを望みます。		
	意見に対する考え方	令和5年2学期の施設稼働に向けて、庁内外の関係者と連携して改築事業を進めていきます。給食の提供体制についても、これまでと同様に心のこもったおいしい給食づくりを心がけ、食育の推進を図り、また、食物アレルギー対応の基本方針等を踏まえた整備を進めていきます。		
今後の方針等		令和5年度の竣工に向けて第二学校給食センター改築事業を着実に進めるため、確実なスケジュール管理のもと、建設工事を進めます。 新第二学校給食センターの食物アレルギー対応については、小学校への調査から得られた課題などを踏まえながら対応案を検討・決定し、対応を希望する児童の保護者に適切な時期に周知をします。		

令和3年度 事業評価シート

1-⑤

事業名	小中学校のあり方の検討	担当課	教育総務課
当初目標	令和3年3月に上田市小中学校のあり方検討委員会が策定した「上田市小中学校のあり方に関する基本方針」について、保護者をはじめとする市民に周知を行います。広報紙などにより市民へ広く周知するとともに、地域ごとに説明・懇談の場を設け、子どもたちにとって、よりよい教育環境の実現に向けて検討を進めます。		
具体的な取組	実施状況	事業費 (千円)	
	(1)「上田市小中学校のあり方に関する基本方針」の周知		
	市ホームページ、広報うえだ10月号へ掲載	0	
	中学校区ごとの説明会の開催（第一中学校区）	0	
	(2)小規模化の著しい学校のあり方に関する検討（小学校1校）		
	保護者・地域住民との懇談会の開催（4回）など	0	
目標の達成状況	<p>(1)教育委員会において、「上田市小中学校のあり方に関する基本方針」の内容及び今後の進め方について確認をしました。総合教育会議においては、基本方針に基づき子どもたちの望ましい教育環境の実現に向けて取り組むことについて、市長部局と情報共有を図りました。</p> <p>基本方針については、市ホームページや広報うえだ10月号による周知を行いました。基本方針に関する地域ごとの説明会については、第一中学校区から順次実施する計画でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、説明会を実施できたのは1箇所にとどまりました。</p> <p>(2)小規模化の著しい学校のあり方については、教育委員とも協議を行いながら、保護者、地域住民との懇談の場を設け、丁寧に意見交換を重ね、学校の統合を含む今後の学校のあり方について、検討を進めました。</p>		
総合評価	B		
今後の課題等	<p>学校の小規模化は今後も続くことから、子どもたちの望ましい教育環境の確保に向けて取組を進める必要があります。この取組に当たり、学校の小規模化や学校施設の老朽化などの教育を取り巻く課題について、全市的な共通課題として市民に理解をいただく必要があります。</p> <p>また、地域と学校が共に歩んできた歴史的経過から、保護者や地域住民にとって統合を含む検討に向き合うことは重い課題となるため、学校の統合についての理解や合意に向けては段階的に取り組む必要があります。</p>		
上田市教育行政評価懇話会	委員からの意見	<p>①小中学校のあり方の検討は難しい課題であるが、市長部局との情報共有を図るなどの工夫をしながら、保護者や地域住民との対話に重点を置いて、丁寧に進めていることを評価します。</p> <p>②学校の小規模化は全市的な共通課題であるということを市民に伝えていくことは、重要な取組だと考えます。</p>	
	意見に対する考え方	<p>①小中学校のあり方については、それぞれの地域の状況やこれまでの経過等を踏まえ、保護者や地域住民と課題やビジョンを丁寧に共有し、よりよい教育環境の実現に向けた検討を進めていきます。</p> <p>②学校の小規模化等への対応が全市的な共通課題であるということを市民に理解いただけるよう、引き続き基本方針に関する説明・懇談の場を地域ごとに設けていきます。</p>	
今後の方針等	<p>学校が置かれた状況は地域ごとに異なることから、地域ごとに説明・懇談の場を設け、基本方針の趣旨及び学校の現状や児童生徒数の将来予測などを市民と共有し、子どもたちのより良い教育環境の確保に向けて検討を進めます。</p> <p>学校の統合を検討する場合は、保護者や地域住民と課題やビジョンを共有するとともに庁内関係課とも連携を図りながら取組を進めます。</p>		

令和3年度 事業評価シート

2-①

事業名	第五中学校改築事業（基本設計・実施設計）	担当課	教育施設整備室
当初目標	第五中学校の校舎及び体育館等について、子どもたちの安全・安心を確保するため、施設の改築を実施する必要があるとあり、年度内に基本設計業務のうち外部委託が必要な構造・設備設計を終了し、実施設計に着手します。		
具体的な取組	実施状況	事業費 (千円)	
	基本・実施設計業務の委託（令和4年度末まで）	77,418	
	(1)校舎棟、体育館の配置及び構造・設備を含めた基本設計		
	(2)解体設計（アスベスト含有調査）、社会体育館改修設計、仮設校舎設計		
目標の達成状況	昨今の建築資材高騰を受け、安価で耐久性のある材質、最低限の必要スペースを確保した面積減、既存ストックの利用等、コスト削減に向けた数々の検討を行い、校舎棟、体育館の配置及び構造・設備を含めた基本設計を完了させました。また、解体設計（アスベスト含有調査）、社会体育館改修設計、既存校舎を最大限利用し必要最低限にまとめた仮設校舎設計を予定どおり進めることができました。		
総合評価	A		
今後の課題等	実施設計業務を進める中で、施設に必要な機能を確保しながら、建設費用の抑制や将来の維持管理コストの縮減策などについても検討する必要があります。		
上田市教育行政評価懇話会	委員からの意見	機能的でコンパクトな設計になっていることを評価します。子どもたちの安全を最優先に設計が進むことを望みます。	
	意見に対する考え方	生徒の多様な行動に対する安全性を確保するとともに、災害等に対する安全性も確保し、コスト削減に配慮しながら、機能的で使いやすく維持管理がしやすい施設になるよう、今後の実施設計を進めていきます。	
今後の方針等	設備、躯体構造計画業務により建設工事にかかるコスト試算などを行い、事業費の削減を図るとともに、将来の維持管理コストの縮減策にも取り組みます。		

令和3年度 事業評価シート

2-②

事業名	小中学校トイレ改修事業	担当課	教育施設整備室
当初目標	小学校4校（北小、川辺小、神川小、丸子中央小）及び中学校1校（第六中）のトイレ改修工事（洋式化、床のドライ化等）を実施します。		
具体的な取組	実施状況		事業費 (千円)
	小学校トイレ改修事業（4校）		77,792
	中学校トイレ改修事業（1校）		48,642
目標の達成状況	<p>トイレ環境の整備を行ったことで衛生面での環境向上が図られ、和式便器が使えない児童生徒のトイレ利用が容易となりました。また、洋式化に合わせて配管設備などの更新もされたことで経年劣化対策ができました。</p>		
総合評価	B		
今後の課題等	トイレの洋式化率が低い小中学校についても順次整備を進める必要があります。		
上田市教育行政評価懇話会	委員からの意見	和式便器が使えない児童生徒が一定数いることから、トイレの洋式化が計画的に進められることを望みます。	
	意見に対する考え方	各家庭でのトイレの洋式化が進み洋式便器でないと用を足せない児童生徒がいることや衛生面から、学校環境の改善のため、トイレの洋式化や床のドライ化等を計画的に進めていきます。	
今後の方針等	平等な教育環境を確保するとともに衛生面での学校環境改善のため、計画的に整備を進めます。		

令和3年度 事業評価シート

2-③

事業名	学校施設の適正な営繕の実施	担当課	教育施設整備室
当初目標	各学校からの営繕要望に対し、営繕実施の可否について判断の上、経費圧縮に努めながら、迅速かつ適切な事業の推進をします。		
具体的な取組	実施状況	事業費 (千円)	
	小学校施設修繕 61件	12,855	
	小学校施設営繕工事 42件	42,976	
	中学校施設修繕 28件	4,071	
	中学校施設営繕工事 10件	3,820	
目標の達成状況	<p>学校要望に基づく学校施設営繕については、必要性、コスト面からの検討を加え、予算の範囲内で効果的かつ迅速、適切に実施することができました。</p> <p>また、小学校3校において特別支援教室が増設となり、当初予算において迅速にエアコンの設置を行い、不足が見込まれる営繕工事費について補正予算対応とするなど、営繕の充実に努めました。</p>		
総合評価	B		
今後の課題等	学校施設の多くは老朽しているため、学校運営に支障がでないよう、今後も引き続き設備の更新や適切な営繕に努めていく必要があります。また、トイレ改修や照明のLED化など、時代に即した環境整備を計画的に実施していく必要があります。		
上田市教育行政評価懇話会	委員からの意見	毎年数多く発生する修繕について、適切に対応していることを評価します。	
	意見に対する考え方	生徒の安全・安心な学習環境を整えるために、学校要望に基づく営繕について、専門知識を有する職員が緊急性・必要性を現地確認し、コスト削減にも努めながら、今後も効果的かつ迅速、適切に取り組んでいきます。	
今後の方針等	営繕要望を把握後、速やかに施設の状態を確認した上で、効果的かつ計画的な営繕に努めます。		

令和3年度 事業評価シート

3-①

事業名	「上田市文化財保存活用地域計画」の策定に向けた取組	担当課	生涯学習・文化財課
当初目標	地域の歴史と文化を次世代に継承していくための、上田市文化財保存活用地域計画策定に向け、コンサルタント業者と契約し、計画案を作成します。 また、文化財保存活用地域計画協議会を開催し、計画案を審議します。		
具体的な取組	実施状況	事業費 (千円)	
	(1)文化財保存活用地域計画策定事業	2,202	
	庁内会議及び地域計画協議会の開催、文化庁協議の実施		
	文化財調査（祇園祭礼）		
	計画作成支援業務委託		
	(2)住民自治組織との懇談会の開催	0	
(3)パブリックコメントの実施	0		
目標の達成状況	<p>(1)計画案の作成は、コンサルタント会社の協力を得て順調に進み、文化庁との協議も随時実施しました。 計画作成に合わせて、追加の悉皆調査として祇園祭礼（牛頭天王信仰）に関する調査を行いました。 庁内関係課を参集しての会議及び地域計画協議会を開催し、意見を聴取しました。</p> <p>(2)地域の文化財保存活用に関する現状や課題について、住民自治組織との懇談会を行いました。</p> <p>(3)計画案に対するパブリックコメントを実施し、市民から意見を聴取しました。 令和4年3月末に文化庁に計画案を提出しました。</p>		
総合評価		A	
今後の課題等	<p>文化庁に計画案を提出後、関係する省庁間において協議が行われます。文化庁の指示により、計画案の調整を行う可能性があります。 計画認定後は、計画内容を広く市民に周知するとともに、地域の特色と文化財を生かしたまちづくりを推進していく必要があります。</p>		
上田市教育行政評価懇話会	委員からの意見	<p>地域住民と協働しながら文化財の保存・活用を実効性高く進めるため、上田市文化財保存活用地域計画案を作成し、年度内に文化庁に提出できたことを評価します。</p>	
	意見に対する考え方	<p>計画作成の次のステップとして、認定後は計画内容を広く市民に周知するよう努めます。 地域住民や関係団体との協働により地域活動の中で文化財を活用していただくことで、文化財の保存・活用を推進し、地域の活性化が図られるよう努めます。</p>	
今後の方針等	<p>文化庁と連携を取り、必要に応じて地域計画協議会委員の意見を伺いながら対応します。 認定後、計画の冊子を作成し関係者などに配布するほか、市民向けの説明会を開催します。</p>		

令和3年度 事業評価シート

3-②

事業名	文化財の保存と活用	担当課	生涯学習・文化財課
当初目標	文化財の市指定・国登録を推進します。 また、文化財de文化祭の開催や日本遺産の活用など文化財の積極的な活用の推進に加え、全国山城サミットのアフター大会を開催し、その魅力を発信します。		
具体的な取組	実施状況	事業費 (千円)	
	(1)国登録有形文化財（建造物） 1件登録 「佐藤家住宅（三ツ引）」（上塩切） 歴史的建造物調査（良泉寺、大屋駅駅舎、上田映劇ほか2件）	0	
	(2)文化財de文化祭in信州上田ふるさと先人館を開催 日本遺産有償ガイド育成講座を開催	1,179	
	西内地域、塩田地域で補充調査を実施	500	
	(3)全国山城サミットアフター大会を開催	4,448	
		1,000	
目標の達成状況	<p>(1)文化財の指定・登録は、1件（9棟）に留まりましたが、今後の指定・登録に向けて歴史的建造物の調査5件（8棟）を実施しました。</p> <p>(2)文化財de文化祭は、11月に信州上田ふるさと先人館の開館一周年記念式と合わせて、音楽家兎束武雄氏の業績を顕彰するコンサートを開催し、60人の参加がありました。また、当日は博物館から先人ゆかりの実物資料を借用して特別展示を行いました。</p> <p>日本遺産事業において、有償ガイド育成講座を開催しました。昨年の初級編受講者を対象とした中級編に17人、初級編に26人の参加がありました。また、西内地域及び塩田地域で補充調査を実施しました。</p> <p>(3)全国山城サミットアフター大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、県内に参加者を限定して山城ガイドツアーを開催し、114人の参加がありました。</p>		
総合評価	B		
今後の課題等	文化財の保存について、状況を把握するとともに所有者等と連携を図ることが必要です。 また、積極的な活用を図るため、文化財de文化祭、日本遺産や山城などを活用した事業を、文化財所有者や地域住民と協働しながら進めていく必要があります。これらの事業については、地域的な偏りが見られるため、市域全体に広げていくことが必要です。		
上田市教育行政評価懇話会	委員からの意見	<p>①文化財所有者の努力だけでは文化財を保存していくことはできません。財源に限りはありますが、文化財所有者を支援し、文化財の公開など活用方法について研究していくことを望みます。</p> <p>②日本遺産ガイドの育成など、地域住民との協働によって、地域が活性化されていることを評価します。</p>	
	意見に対する考え方	<p>①文化財の保存状況の把握に努めるとともに、所有者と連絡を密にして情報共有を図り、補助制度等を活用しながら、協働による文化財の保存と活用を推進できるよう努めます。</p> <p>②日本遺産を活用した地域活性化には地域住民との協働が欠かせません。今後も地域住民とともに、訪れる方に日本遺産を体感していただける環境づくりに努めます。</p>	
今後の方針等	新たに策定する文化財保存活用地域計画に沿って、地域に残る貴重な文化財を将来に向けてより良い姿で保存するとともに、地域振興につながるような活用を積極的に推進します。 文化財所有者や地域住民に、文化財の価値を再認識してもらうために、官民協働による事業を推進します。		

令和3年度 事業評価シート

3-③

事業名	史跡上田城跡整備事業の推進	担当課	生涯学習・文化財課
当初目標	史跡上田城跡整備専門家会議の開催や文化庁協議を実施し、事業を具体的に進めるとともに、講演会等を開催して武者溜りや櫓の整備に対する機運の醸成を図ります。また、史跡上田城跡保存活用計画の策定を進めます。		
具体的な取組	実施状況	事業費 (千円)	
	(1) 史跡上田城跡整備専門家会議、保存活用計画策定委員会の開催	300	
	(2) 史跡上田城跡保存活用計画の計画案作成	1,991	
	(3) 旧市民会館解体及び武者溜り整備に係る予備調査	2,400	
	(4) 上田城の石垣だったとされる石材を今後の整備に活用するため確保	385	
目標の達成状況	(1) 「史跡上田城跡整備専門家会議」をオンラインにより2回開催し、武者溜り整備や櫓の復元的整備、保存活用計画の策定方針に対する意見を聴取しました。また、文化庁協議を実施し、「復元的整備」の見解や課題などを確認しました。 (2) 「史跡上田城跡保存活用計画」の策定について、コンサルタント会社と委託契約し、計画案の作成に着手しました (3) 旧市民会館の解体及び武者溜り整備に係る、がれきの搬出や重機の搬入搬出路を検討するための予備調査を実施しました。 (4) 市役所本庁舎の駐車場造成地で発見された、上田城の石垣だったとされる石材を、今後の整備に活用するために運び出し確保しました。		
総合評価	B		
今後の課題等	今後の整備方針の土台となる「史跡上田城跡保存活用計画」について、令和4年度の文化庁認定を目指し、計画案の作成を急ぐ必要があります。 武者溜りの整備に向け、発掘調査により遺構を確認するとともに、都市公園事業として国土交通省の補助を得られるよう計画案の策定や調査などを実施するほか、櫓の復元的整備に向けて資料調査を継続し、専門家の見解を得ることが必要です。		
上田市教育行政評価懇話会	委員からの意見	上田城の石垣だったとされる石材を確保するなど、史跡上田城跡の整備に向けた具体的な取組を積み上げていることを評価します。	
	意見に対する考え	発掘調査の公開や出前講座・講演会の開催、また市立博物館との連携事業等により、市民や観光客の史跡上田城跡に対する関心を高め、武者溜りや櫓の復元的整備の機運の醸成を図ります。また、整備推進のために、史跡上田城跡整備専門家会議での意見聴取や文化庁との協議を進め、事業を具体的に進めることができるよう努めていきます。	
今後の方針等	専門家会議を複数回開催し、保存活用計画の内容や整備の方向性について専門的かつ具体的な意見をいただき、整備事業の着手に向けて準備を進めます。また、資料調査や発掘調査の結果を蓄積し、専門家の見解を踏まえ、文化庁との協議を進めていきます。		

令和3年度 事業評価シート

3-④

事業名	郷土の歴史、文化、先人・偉人の業績等を知る機会の創出	担当課	生涯学習・文化財課 博物館
当初目標	(1) 信州上田ふるさと先人館の展示の充実と、情報発信に努めます。 (2) 市立博物館と信濃国分寺資料館で、市民ニーズに即した企画展、体験教室、各種講座を開催します。 (3) 発掘した文化財などの活用を図ります。		
具体的な取組	実施状況	事業費 (千円)	
	(1) 信州上田ふるさと先人館事業	2,519	
	文化財de文化祭in信州上田ふるさと先人館を開催	500	
	(2) 市立博物館 企画展3回、講座10回	441	
	信濃国分寺資料館 企画展3回、「奈良時代を学ぶ会」6回	360	
	市立博物館別館において、日本遺産パネル展を開催	0	
	(3) クジラ類化石発掘調査・クリーニング作業	2,469	
目標の達成状況	(1) 先人顕彰事業の新たな取組として、サントミュージアムや市立博物館において開催されたイベントなどで先人紹介パネルを展示する「出張どこでも先人館」を3回実施しました。また、11月に開館一周年記念式と合わせて、先人ゆかりの実物資料を博物館から借用して特別展示を行いました。 (2) 市立博物館及び信濃国分寺資料館で、郷土の歴史、文化、先人・偉人の業績をテーマとした展覧会及び講座などを開催しました。市立博物館では、市立美術館と共催した市立美術館コレクション企画展、別所線復興及び日本遺産認定一周年を記念する企画展、戦国武将の書状を紹介する特別企画展を開催し、古文書講座や博物館講座を実施しました。史跡めぐりは新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。信濃国分寺資料館では、上田地域の土器や遺跡、信仰をテーマとした企画展を開催し、合わせて講座などを実施しました。また、市立博物館別館で、日本遺産パネル展を開催しました。 (3) 浦野川のクジラ類化石は、追加の発掘調査を行い、全ての化石を採取しました。採取後はクリーニング作業を行い、展示場所について、関係機関と協議しました。		
総合評価		B	
今後の課題等	(1) 子どもたちをはじめ市民に、郷土の先人に対し関心を持ってもらえるよう、情報発信を進めるとともに先人館以外の場所での先人紹介の機会を増やしていく必要があります。 (2) 市立博物館及び信濃国分寺資料館では、専門的職員（学芸員）の確保・育成と、施設の老朽化に伴う新たな施設整備の検討が必要です。 (3) 貴重なクジラ類化石については、今後の評価を見定める中で展示公開に向けた展示方法を調査・研究し、関係機関との協議を進める必要があります。		
上田市教育行政評価懇話会	委員からの意見	① 信州上田ふるさと先人館事業は、市民へのアプローチや展示の方法、スタッフの配置など、足を運びたくする工夫が必要だと考えます。 ② 別所線復興記念企画展から戦国武将の書状を紹介する特別企画展まで、魅力的で幅広い内容の展示を企画したことを評価します。 ③ 博物館など専門性が求められる部署に学芸員を配置し、時間をかけて育成していくことを望みます。 ④ 貴重な資料であるクジラ類化石が、広く市民に公開されることを期待します。	
	意見に対する考え	① 写真展示パネルの充実に加え、実物資料の展示など展示内容を工夫するとともに、「出張どこでも先人館」等の取組を通じて、情報発信と施設周知に努めます。 ② ③ 市立博物館と信濃国分寺資料館では、職員（学芸員）の人員確保に努め、専門性を培うとともに、市民や観光客のニーズに応えられる展示や各種講座の開催に努めていきます。 ④ 引き続きクリーニング作業を進めるとともに、化石の評価を踏まえた展示方法等について調査・研究していきます。	
今後の方針等	(1) 展示内容の充実を図るとともに、公民館や学校などでの展示を行い、情報発信と施設周知に努めていきます。 (2) 市立博物館及び信濃国分寺資料館では、魅力ある展示や講座の開催及び職員の専門知識の向上に努めるとともに、老朽化した施設の整備については、史跡整備事業と連携した取組を進めます。 (3) 展示公開の実現に向けて、クリーニング作業を進めるとともに、化石の評価を見定める中で展示方法等を調査・研究し、関係機関との協議を継続していきます。		

令和3年度 事業評価シート

4-①

事業名	上田自由大学運動等の顕彰による生涯学習推進	担当課	生涯学習・文化財課
当初目標	自主的・主体的な活動を学び、市民の自主的活動につなげることを目的に、創設100周年を迎えた上田自由大学等の取組を顕彰する生涯学習シンポジウムを開催します。		
具体的な取組	実施状況		事業費 (千円)
	(1) 打合せ会議(プロジェクト会議)の開催 (4回)		0
	(2) 生涯学習シンポジウムの開催		
	シンポジウム講師謝礼		78
	チラシ3,000部、ポスター150部を作成・印刷		53
	シンポジウム記録冊子200部を印刷・配布		92
目標の達成状況	<p>収録の放送・配信(ケーブルテレビ・行政チャンネル) 視聴アクセス数 約600回</p> <p>0</p> <p>上田自由大学創設100周年を迎え、「上田自由大学100周年 私たちのほてしない物語2021」を開催しました。昨年度のプレ大会に続き、自由大学の精神を引継ぐ研究者や実践者から研究内容や魅力、思いを発表していただき記念シンポジウムとして開催しました。 (基調講演：長野大学名誉教授・長島伸一先生、パネルディスカッション：上田社会教育大学学長・尾崎行也先生ほか3名、市民活動団体紹介ポスターセッション：15団体) 新型コロナウイルス感染症拡大により、無観客、収録による開催に変更し、後日、ケーブルテレビや行政チャンネルで放送・配信するとともに、シンポジウムの記録冊子を作成・配布しました。</p>		
総合評価	B		
今後の課題等	自由大学100周年記念事業として行った顕彰の機会が有意義なものとなり、地域の社会活動の精神として受け継いでいけるよう、今後も機会を捉えて顕彰や学習活動を行っていく必要があります。		
上田市教育行政評価懇話会	委員からの意見	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受ける中、開催方法を収録に変更するなどの工夫をし、実績を残せたことを評価します。このような顕彰や学習の機会を継続していくことが大切だと考えます。	
	意見に対する考え方	100年もの前に地域の青年たちが作り出した上田自由大学運動から、学びへの想いや情熱を学び、市民の自発的な学習活動を現在そして未来につなげるため周知・発信していくことが大切であると考えます。 今後も、社会教育運動の意義の顕彰を促し、市民の自主的活動につながる学習機会を提供していきます。	
今後の方針等	上田自由大学100周年事業で作成した記録冊子を学校や社会教育施設などに配布し、社会教育運動の意義の顕彰を促し、今後も自由大学運動などの市民の自主的活動に学び、自主的、主体的なまちづくりの担い手を養成していきます。		

令和3年度 事業評価シート

4-②

事業名	地域とともにある学校づくりの充実	担当課	生涯学習・文化財課 学校教育課
当初目標	学校の実情や地域の特徴を生かしながら学校と地域が連携・協働していくための持続可能な体制整備を行うため、地域ぐるみで学校を支えていく「仕組み作り」の推進と、地域における交流・情報交換の支援に取り組みます。 また、学校支援ボランティア活動の推進のため、特色ある活動を紹介します。		
具体的な取組	実施状況	事業費 (千円)	
	(1) 学校支援コーディネーター基礎講座用テキストの作成	0	
	教職員向け「学校支援ボランティア」周知のリーフレット印刷	0	
	「読み聞かせ（団体・個人）リスト」冊子を印刷（1,500部）し、市ホームページへ掲載	147	
	(2) 研修会への参加（2回）	0	
	統括コーディネーターと学校支援コーディネーターとの個別懇談会（6回）	0	
	(3) ボランティア保険に加入	475	
目標の達成状況	(1) コーディネート機能の強化、継続的な活動を踏まえた媒体作りを実施 新規コーディネーター向けの実践的な基礎講座のテキストを作成しました。 学校支援ボランティアを教職員に周知するためのチラシを作成、配布しました。 ボランティアの実態を把握し、まずは「読み聞かせ」分野で市内で活躍している団体・個人の活動紹介を目的とした冊子を作成、配布しました。 地域学校協働活動の取組をホームページで紹介しました。（4校） (2) 能力・対応力の向上を図る各種研修や情報交換を実施 県主催の学校支援ボランティア研修会に参加しました。（オンライン開催） 東信教育事務所主催の学校支援コーディネーター研修会に参加しました。 （参加者6人） 集合研修の代わりに、統括コーディネーターと学校支援コーディネーターとの情報交換を個別に行いました。（6回） プロジェクト会議で学校を支援する体制の強化・改善に向け、課題と対策について情報共有しました。（4回） (3) ボランティア保険に加入しました。（@350円 1,356人）		
総合評価	B		
今後の課題等	学校の実情や地域の特徴を生かしながら、引き続き持続可能な体制を整備していくことが必要です。 コロナ禍にあっても、学校と地域の連携・協働を推進するため、コーディネート機能の強化、多様な活動・継続的な活動となる必要があります。 学校・地域ごとで取組状況に差があり、ボランティア等の固定化・高齢化に対する取組が必要です。		
上田市教育行政評価懇話会	委員からの意見	地域ごとの特徴を生かした、学校に寄り添った支援という視点を大切に、持続可能な仕組みが整備されることを望みます。	
	意見に対する考え方	コロナ禍等により社会や学校環境が変わる中で、地域や学校ごとに学校支援の考え方や状況も異なりますが、これまでどおり、学校を真ん中にお互いの顔がわかる関係づくりを重視し、持続的な活動を行えるよう、地域の声を聞きながら、学校に寄り添った支援を行っていきます。	
今後の方針等	学校と地域が連携し地域全体で子どもたちの成長を支えていく仕組み作りを進めます。 統括コーディネーターを中心に、学校支援コーディネーターの研修会、交流・情報交換を行い、地域の結束力を高め、各学校に寄り添った支援を行っていきます。 学校支援ボランティア活動の推進のため、学校支援ボランティア活動の取組の紹介や周知を行い、新たな担い手の掘り起こしを図ります。		

令和3年度 事業評価シート

4-③

事業名	人権同和教育・啓発の推進	担当課	生涯学習・文化財課
当初目標	(1) 学校と地域が連携して行う人権同和教育を実施します。 (2) 「上田市人権施策基本方針」に基づく人権同和教育・啓発を推進します。 (3) 人権尊重の精神が日常的に発揮できる講演会・研修会等の事業を実施します。		
具体的な取組	実施状況	事業費 (千円)	
	人権教育総合推進地域事業	743	
	学校人権同和教育の推進	4,423	
	地域人権同和教育の推進	3,939	
	社会教育団体等人権同和教育の推進	261	
	企業人権同和教育の推進	200	
目標の達成状況	今年度は文部科学省の委託を受け、学校・家庭・地域が連携し、課題解決に向けて推進していく指導方法についての調査研究を進め、その成果を県内の各地域へ発信しました。 新型コロナウイルス感染症の影響により、例年10月に開催している「人権を考える市民のつどい」は、ケーブルテレビや行政チャンネルでの放送・配信により行いました。また、企業の新入社員研修会はオンラインで開催するなど、コロナ禍における開催方法を工夫して事業を実施し、人権教育・啓発の推進を図りました。 11月開催の人権担当者研修会においては、多様な人権問題について話し合うことを通して、社会教育関係団体などの人権担当者の資質の向上、層の拡大を図りました。		
総合評価	B		
今後の課題等	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により人々の差別意識が表面化する中、また人権課題が多様化する中、市民の人権尊重の精神が日常的に発揮できるよう有意義な研修会等を企画・実施する必要があります。感染防止対策をとりながら、効果的な教育・啓発をいかに実施していくかが重要です。		
上田市教育行政評価懇話会	委員からの意見	社会情勢の変化により、さまざまな人権問題が生じています。一つ一つの問題を取りこぼさずに人権教育・啓発を推進していくことが重要だと考えます。	
	意見に対する考え方	人権問題が多様化している中、一つ一つの問題を取りこぼさないよう常に情報収集に努めながら、市民の人権に関する正しい理解と認識を深めるため、また人権意識を高めていくために、引き続き取り組んでいきます。	
今後の方針等	感染防止対策を徹底した講演会や研修会を実施するほか、ICTを活用した研修会・講演会の開催など、一人でも多くの方々に参加いただける方法を検討していきます。また、広報うえだ・行政チャンネル・ホームページでの発信も含め、あらゆる世代の方々に対応できる啓発活動を実施していきます。		

令和3年度 事業評価シート

4-④

事業名	青少年の健やかな成長を支援する取組の充実		担当課	生涯学習・文化財課
当初目標	(1) 子どもの成長に重要な体験活動や集団遊びに触れる機会を増やすため、モデル的な自然体験活動や地域（自治会等）単位の体験活動を支援します。 (2) 子どものインターネット利用状況が課題とされる中、適正利用の啓発に取り組みます。 (3) 青少年の健全育成と社会参加の観点から、地域における若者の居場所づくりを調査・研究します。			
具体的な取組	実施状況			事業費 (千円)
	(1) 幼児期の子どもを主な対象とした地域の自然体験事業			89
	子ども会育成連絡協議会との連携による自然体験活動の促進			149
	(2) インターネット・スマートフォン適正利用啓発リーフレット作成・配布			115
(3) 地域における若者の居場所づくりの調査・研究			5	
目標の達成状況	(1) 幼児期の子どもを主な対象とした地域の自然体験事業を実施しました。 「親子で山さんぽー太郎山を遊ぼう!!」(太郎山)小学生4人 子ども会育成連絡協議会との連携による自然体験活動を実施しました。 「のびのび川遊び体験教室ー浦野川で遊ぼう!学ぼう!」(浦野川ほか) 未就学児2人、小学生13人 「わくどき森遊びー市民の森を遊ぼうー」(市民の森) 小学生16人、未就学児2人 体験活動支援事業補助金の交付 15団体 「育成会活動の手引き」の作成 (2) インターネット・スマートフォン適正利用啓発リーフレットに、児童生徒の利用実態、家庭や学校でのルールづくりの事例等を取り入れ、作成・配布しました。 3月 20,000部発行。市内小中学校全児童・生徒へ配布 (3) 地域における若者の居場所づくりの調査・研究を実施しました。 市民団体の子どもたちの居場所づくり事業(化石発掘体験ワークショップ)に参加、協力し、実態を研究しました。			
総合評価		B		
今後の課題等	(1) 外遊びをする子どもたちが減少傾向にあるといわれる中、就学前や低学年の子を持つ保護者に体験活動の重要性を知ってもらうことが必要です。自然体験事業は、コロナ禍においても、人数を制限するなど開催方法を工夫しながら進めることが必要です。 (2) インターネット・スマートフォンの適正利用については、学校、保護者、地域の連携を進めること、また未就学児の適正利用に取り組む健康こども未来部との情報交換が必要です。 (3) 地域における若者の居場所づくりを引き続き調査・研究する必要があります。			
上田市教育行政評価懇話会	委員からの意見	① 自然体験の機会提供のため、地道に取り組んでいることを評価します。 ② 義務教育終了後の不登校や引きこもりについて、行政機関と地域などが連携して支援が行われることを望みます。		
	意見に対する考え方	① 青少年の自然体験活動は、文部科学省も青少年教育の重要な柱として位置付けています。コロナ禍においても工夫をして体験活動の機会を継続的に提供するとともに、地域の体験活動の支援に努めていきます。 ② 令和3年度の総合教育会議において、不登校・引きこもり支援をテーマに市長部局と情報共有を図りました。義務教育終了後の地域の若者への支援について、今後も引き続き検討していきます。		
今後の方針等	(1) 就学前や低学年の親子向けの自然体験プログラムを実施し、体験活動の重要性を学ぶ機会を継続的に作ります。また、令和3年度に作成した「育成会活動の手引き」を活用し、自治会単位の育成会が自然体験等に取り組めるよう支援します。 (2) インターネット・スマートフォンの適正利用について、庁内部局と情報交換を進め、啓発リーフレットの内容を工夫し、リーフレットの活用が家庭で図られるよう努めます。 (3) 地域における若者の居場所づくりや社会参加体験の機会提供について、調査・研究を進めていきます。			

令和3年度 事業評価シート

4-⑤

事業名	公民館事業の充実	担当課	中央公民館 生涯学習・文化財課
当初目標	(1) 新型コロナウイルス感染対策に対応した新しい学習形態についての調査・研究をします。 (2) 各分館に対する応援体制の強化をします。 (3) 公民館事業の情報発信力向上に取り組みます。 (4) 公民館使用料の減免基準の見直し及び冷暖房費徴収について検討します。		
具体的な取組	実施状況	事業費 (千円)	
	(1) オンライン講座実施に向け、全公民館においてWi-Fi環境を整備	140	
	オンライン形式による講座等の開催に向けた職員研修会の開催（1回） 受け手に伝わるキャッチコピーのデザイン研修会へ参加（2回） Web会議による研修会の開催（1回）	8	
	(2) 分館に向け必要な情報提供を行うとともに、専用の相談窓口を公民館ごとに開設（相談対応件数：979件）	0	
	(3) 全公民館において、Facebookによる公民館情報を発信 Facebook担当者の連絡会議の開催（1回） Facebookによる効果的な情報発信に向けた研修会の開催（1回）	0	
(4) 令和4年4月からの運用に向け、使用料の減免基準を見直し、広報うえだ、公民館だより、SNSなどにより市民に向け告知 冷暖房費の徴収について検討	0		
目標の達成状況	(1) コロナ禍において、新しい生活様式に対応した学習方法について調査・研究を行うとともに、施設内のWi-Fi環境の整備を進め、ソフト面、ハード面ともに進捗がありました。令和4年度中のオンライン講座開催に向け、内容を精査し準備を進めていきます。 (2) 各分館役員は、新型コロナウイルスの感染拡大期において、事業実施の判断をはじめ、感染対策など難しい判断を迫られることが多く、相談窓口にはさまざまな相談が寄せられましたが、丁寧な対応を行いました。 (3) Facebookをはじめとして、市ホームページ、公民館だよりなどで公民館情報の発信に取り組み、利用者からも一定の反応があるなど、成果が見られました。 (4) 使用料の減免基準の見直しを行い、令和4年度から新たな基準により運用を行うことを市民にお知らせするなどの対応をしました。		
総合評価		B	
今後の課題等	新型コロナウイルス感染症の流行は今後も続くことが予想されますが、公民館においては、適切な対策を施しながら、社会教育施設としての役割を果たすよう業務を遂行していく必要があります。いかなる場合であっても、市民に向けた学びの場を提供できるよう、引き続き、新しい時代に対応した学習方法について調査・研究を進める必要があります。		
上田市教育行政評価懇話会	委員からの意見	① オンラインによる学習環境の整備と合わせ、市民が集い、学ぶという公民館の役割を果たすことができるよう事業が推進されることを望みます。 ② 利用者負担の公平性の視点を大切に、使用料や冷暖房費の検討に当たっていることを評価します。	
	意見に対する考え方	① 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、公民館に市民が集まることができない事態も想定し、オンラインによる学びの場を提供するために、Wi-Fi環境の整備等に取り組んできました。今後も、感染対策を徹底した上で、市民が集い、学ぶ場を提供していきます。 ② 利用者負担の公平性を担保するために、使用料の減免基準を見直しました。冷暖房費については、公民館によって設備が異なり、また利用者の負担につながることから、引き続き慎重に検討していきます。	
今後の方針等	あらゆる年代層の全ての市民が、安心して学べる施設となるよう、これまで調査・研究した成果を基に、変えなくてよいものは守りながら、新しい学びの場を提供していきます。そのためにも、今後も引き続き、さまざまな情報や最新の知識の収集を行い、新たな発想を取り入れた公民館事業の在り方を研究していきます。		

令和3年度 事業評価シート

4-⑥

事業名	図書館サービスの充実	担当課	上田図書館 生涯学習・文化財課
当初目標	<p>「地域の身近な情報拠点として、くらしと学びに役立つ図書館」を基本理念とし、その推進のため図書館サービスの充実を図ります。</p> <p>(1)資料収集方針の明確化と情報共有 (2)インターネットを活用したサービスの提供 (3)職員の資質向上</p>		
具体的な取組	実施状況	事業費 (千円)	
	(1)各図書館の資料収集方針の策定と情報の共有	0	
	(2)Web利用者登録の促進と図書館ホームページでの情報発信の強化	0	
	(3)各種研修会への参加と情報の共有	4	
目標の達成状況	<p>(1)各図書館ごとに収集資料の検討（資料別・分類別）を行い、資料収集方針を策定するとともに、各館の間で情報の共有化を図りました。</p> <p>(2)資料のインターネット予約の促進に向け強化月間を設けPRし、新規登録者の増加に努めました。（月平均登録者数：約40人、10月強化月間登録者数：115人） また、図書館ホームページの課題について洗い出し、各館統一したページの見直しを行うなど情報発信の強化を図りました。</p> <p>(3)新型コロナウイルス感染拡大防止のため参加を見送った研修会もありましたが、県立長野図書館などの主催による研修会（オンライン含む）への参加や館内研修を開催し、スキルアップに努めました。（15回、延べ113人）</p>		
総合評価	B		
今後の課題等	<p>(1)策定した資料収集方針に基づき、効率的に資料の収集をしていく必要があります。</p> <p>(2)今後も利用しやすい図書館ホームページの作成に努めるとともに、多くの人にホームページを見てもらうための運用が必要です。</p>		
上田市教育行政評価懇話会	委員からの意見	<p>資料のインターネット予約を促進し、利用者の利便性向上に努めたことを評価します。</p> <p>一方で、利用者が知りたい内容について、どの本に当たればよいか分からない場合などは、図書館職員が蔵書を検索し、資料を提供していくことも重要だと考えます。両面でサービスの充実を図っていくことを期待します。</p>	
	意見に対する考え方	<p>資料のインターネット予約は、利用者が個人のパソコンやスマートフォンから本の予約ができ、図書館の利用を促進するための有用なツールであり、引き続き登録者の増加に努めていきます。</p> <p>一方で、利用者が知りたい内容について資料を見つけられなかったり、うまく答えにたどりつけないような場合に、窓口等で職員が調べ物のお手伝いをするレファレンスサービスも重要であり、職員の資質向上と合わせ充実していきます。</p>	
今後の方針等	<p>(1)資料の収集は、各館の蔵書の状況なども踏まえながら、各館の間で意思疎通を図り進めていきます。</p> <p>(2)こまめな情報の更新に努めるとともにツイッターを活用した図書館ホームページへの誘導について取り組んでいきます。</p>		

令和3年度 事業評価シート

5-①

事業名	生涯スポーツの振興と競技力向上	担当課	スポーツ推進課
当初目標	第二次上田市スポーツ推進計画に基づき、年齢・性別・障がいの有無にかかわらず、誰もがスポーツに親しむ機会を充実するとともに、国民スポーツ大会を見据えた競技力向上に取り組みます。		
具体的な取組	実施状況	事業費 (千円)	
	(1) 各種スポーツ大会など (14回)	5,054	
	(2) 夢を持つことの大切さを伝える「夢の教室」事業(小学校4校9クラス)	674	
	スポーツの楽しさ・魅力の再発見事業「ボールゲームフェスタ」 (126人)	200	
	(3) パラスポーツの体験を通じた障がい者と健常者との相互理解を深める事業「あすチャレ!School」 (小中学校5校20クラス)	180	
	(4) 競技力向上を図る全国大会等出場奨励金の交付 (33件)	1,025	
目標の達成状況	<p>子どもたちの運動・スポーツ推進、障がい者スポーツ推進の新たな取組として、「ボールゲームフェスタ」、「あすチャレ!School」事業を実施しました。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業の一部を中止とするなど、目標とする事業開催数には至りませんでした。市民のスポーツ機会の確保は重要な視点であることから、感染対策を講じたうえで実施可能な事業に取り組みました。また、感染警戒レベルに応じたスポーツ施設の貸出基準について見直しを行い、スポーツの「場」の提供が図られるよう取り組みました。</p>		
総合評価	B		
今後の課題等	<p>誰もが、気軽にスポーツに親しみながら体力・健康づくりができるよう、情報提供や事業を展開する必要があります。</p> <p>令和10年に長野県で開催が予定されている国民スポーツ大会に向け、競技力向上や受け入れ体制の準備を着実に進める必要があります。</p>		
上田市教育行政評価懇話会	委員からの意見	<p>①障がい者スポーツ推進の新たな取組として、「あすチャレ!School」事業を実施したことを評価します。今後は、健常者がパラスポーツを経験するだけでなく、普段の遊び、スポーツに障がい者が参加できるように工夫をしていくという視点を大切に、障がい者と健常者との相互理解を深めることが重要だと考えます。</p> <p>②奨励金など、全国大会等で活躍する選手を応援する取組が充実していくことを期待します。</p>	
	意見に対する考え	<p>①障がい者と健常者が一緒になって楽しめるような事業の普及・啓発を図り、共生社会の実現に努めていきます。</p> <p>②奨励金については、他自治体の状況等を踏まえ研究していくとともに、全国大会等で活躍する選手や参加する大会等の情報を積極的に発信し、市民のスポーツへの関心を高め、市を挙げて応援する機運の醸成を図っていきます。</p>	
今後の方針等	<p>スポーツ関係団体や庁内部局と連携し、魅力あるスポーツ教室や大会・イベント開催を検討するなど、参加者拡大に向けて取り組んでいきます。</p> <p>国民スポーツ大会の会場となる古戦場テニスコートの整備を遅滞なく進めるとともに、中央競技団体の視察受入や機運醸成に取り組んでいきます。</p>		

令和3年度 事業評価シート

5-②

事業名	上田市スポーツ施設整備計画に基づく 施設整備の推進	担当課	スポーツ推進課
当初目標	(1)新テニスコート整備予定地の80%を買収します。 (2)新テニスコート設計に向け、競技団体の意見聴取の場を設定します。 (3)管理事務所ごとに定めた計画に基づき、計画的な修繕を実施します。 (4)新体育館の整備に向け、関係課との検討会議を開催します。		
具体的な取組	実施状況	事業費 (千円)	
	(1)新テニスコート整備予定地の買収、設計業務を実施	360,259	
	(2)新テニスコートの設計に向けた関係団体との協議を実施	0	
	(3)各管理事務所において、計画に基づいた修繕を実施	13,705	
	(4)新体育館整備に向けた課内での検討会議を実施	0	
目標の達成状況	(1)新テニスコート整備予定地の買収について、令和3年度内に100%完了しました。また、新テニスコートの設計業務を実施しました。 (2)新テニスコート整備に当たって、自治会との協議を1回、競技団体との協議を4回実施し、競技団体と先進地の視察も行いました。 (3)管理事務所ごとに作成した修繕計画に基づき、修繕を行いました。 (4)新体育館の整備に向け、課内で検討会議を開催しました。		
総合評価	A		
今後の課題等	「上田市スポーツ施設整備基本構想・整備計画」や、令和10年開催の国民スポーツ大会を踏まえた施設整備を進めていく必要がありますが、財源の確保が最も大きな課題となります。		
上田市教育行政評価懇話会	委員からの意見	新テニスコートの整備に向け、整備予定地の買収を完了し、また設計業務を実施するなど、事業が着実に進んでいることを評価します。	
	意見に対する考え方	新テニスコートは、令和5年度の整備完了を目指し、事業を着実に進めていきます。令和4年度から工事に着手します。	
今後の方針等	少しでも有利な補助金や起債を活用することにより、施設整備を進めます。		

令和3年度 事業評価シート

5-③

事業名	スポーツを通じた地域づくりと交流拡大	担当課	スポーツ推進課
当初目標	(1) 市内に4つある総合型地域スポーツクラブの安定的な活動が継続するよう、各クラブと連携した事業に取り組みます。 (2) 市内に活動拠点があるV2女子ブリリアントアリーズへの活動支援を通じて、市民の「みる」スポーツの機会や交流人口の拡大を図ります。		
具体的な取組	実施状況		事業費 (千円)
	(1) 総合型地域スポーツクラブと連携した事業		
	アリオ上田におけるモールウォーキングを開催（8回）		0
	アリオ上田における健康フェアを開催（1回）		0
	(2) ブリリアントアリーズのジュニアチーム結成支援 （メンバー募集チラシ配布、練習会場確保）		0
	V2女子開幕戦（10/30・31）会場確保、 広報うえだ・行政チャンネルでPRの実施		0
目標の達成状況	(1) 総合型地域スポーツクラブとの連携事業は、目標としていた開催回数には至りませんでした。新型コロナウイルス感染症への対策を講じながら実施し、市内4つある総合型地域スポーツクラブ相互の連携と資質向上につなげるとともに、各クラブへの支援と市民の体力・健康づくりの機会創出が図られました。 (2) V2女子に参戦しているブリリアントアリーズのジュニアチーム結成や開幕戦の広報・PRなどの支援を通じ、「みる」スポーツの推進を図りました。		
総合評価		B	
今後の課題等	(1) 総合型地域スポーツクラブは、コロナ禍における活動規模の減少などによる会員数減少、自主財源の確保、次世代の担い手育成などの課題を抱えていることから、安定的に自主運営が行えるよう事業運営に対する協力や広報などの支援をする必要があります。 (2) ブリリアントアリーズなどトップレベルの競技者や指導者と接することによる、市民の競技意識やスポーツへの関心が高まる取組が重要です。		
上田市教育行政評価懇話会 委員からの意見 意見に対する考え方	① 総合型地域スポーツクラブの活動の促進や安定的な自主運営に向けて、連携事業を開催したことを評価します。 ② 上田市にゆかりのある選手の教室や講演会など、トップレベルのスポーツに触れる機会が充実していくことを期待します。		
	① 総合型地域スポーツクラブの継続的な活動が図られるよう、引き続きクラブと連携した事業を展開していきます。 ② 上田市にゆかりのある選手の試合観戦や教室・講演会などを通じて市民が交流することは、夢や感動を享受するとともに、スポーツに対する関心や意欲を更に高めることが期待でき、スポーツに苦手意識を持つ人がスポーツを始めるきっかけにもつながると考えます。引き続きトップレベルのスポーツに市民が触れる機会の充実を図っていきます。		
今後の方針等	(1) 各総合型地域スポーツクラブが持続的発展をすることで、生涯スポーツ、地域コミュニティの形成による地域の活性化へとつながるよう、魅力ある事業や各課題について協議しながら、各クラブの取組を支援していきます。 (2) 学校やスポーツ関係団体と連携を取りながら、教室開催などを含め多くの方がトップレベルのスポーツに触れる機会の提供に努めていきます。		